

日本経済新聞社2020年度エネルギー消費

日本経済新聞社のエネルギー消費は、目標としている年平均マイナス1%を維持しています。引き続きエネルギー消費量の削減に努めます。

省エネ法の届出データ

2020年度の省エネ法の届出データは前年度比でプラス3.8%となりましたが、5年度間の平均は年マイナス1.5%で、中長期的には順調にエネルギー消費量を削減しています。

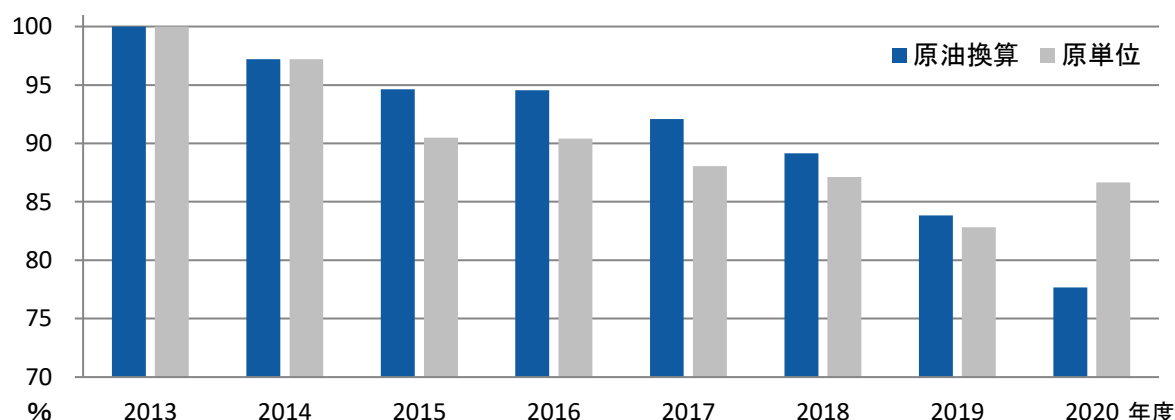
年度	2016	2017	2018	2019	2020	5年度間 平均
エネルギー使用 に係る原単位	65.02	62.43	61.91	58.85	61.10	
対前年度比(%)		96.0	99.2	95.1	103.8	98.5

※1: 省エネ法では日本経済新聞社の全てのビル、事務所、工場等のエネルギー消費量を集計しています。

※2: エネルギー使用に係る原単位は、電気、ガス、灯油などのエネルギー消費量を原油換算(kℓ)した値を全事業場の延床面積(千㎡)で割った値です。

新聞事業に関わるエネルギー消費データ

本支社、支局、印刷工場などの新聞事業に関わる事業場について、2013年度を基準年としてエネルギー消費量の削減を集計しています。2020年度の前年度比は、原油換算ではマイナス7.3%と大幅に削減していますが、原単位ではプラス4.6%でした。これは工場閉鎖により延床面積が減少したためです。(日本新聞協会への提出データより)



日本経済新聞社の環境活動

全社を挙げた廃プラスチック削減への取り組み

- 日経グループが使用する事業系廃プラスチックの半減を目指す
- リデュース（削減）、リユース（再利用）、リサイクル（再生利用）を推進
- 新聞・雑誌などの梱包材に代替品を採用

本支社などオフィス部門の環境活動

- 照明の消灯の徹底、間引き、照明器具更新時のLED化
- 空調の稼働時間、設定温度の見直し
- コピー用紙の使用量削減、ペーパーレス化の推進
- ゴミ分別の徹底とリサイクル率向上
- 電気温水器、ハンドドライヤー、便座ヒーターなどの停止

印刷工場の環境活動

- 環境マネジメントシステムによる活動(自社系11工場：ISO14001、エコアクション21)
- 空調・照明などの節電を徹底、契約電力の引き下げ
- 空調用冷水・温水を深夜電力で作ることで昼間のピーク電力を抑制
- 製版現像廃液や輪転機洗浄廃液の削減、薬液容器の再利用化とリサイクル
- 新聞梱包材(包装フィルム・結束バンド)の回収
- 設備更新時の省エネ製品の採用

